

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。	町内会に加入し町内の会合や行事に参加し、地域の一人として信頼される様に努めております。運営推進会議にも積極的に参加して下さっており、深く理解をして頂いている。	
2	○理念の共有と日々の取組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。	毎月のミーティングや日常の会話、新人の指導の中で理念を学び全職員で周知し実践している。	
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる。	地域の会合や行事に参加させて頂いたり、運営推進会議の場や面会に来られた御家族様に「ほ～む」での最近の出来事や行事の報告をさせて頂くなかで共感と理解をしてくださっている。	
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。	入居者様と朝のゴミ出しや、畑仕事をしている際にご近所の方から声を掛けて頂いたり犬の散歩の途中に立ち寄り入居者様と触れ合ってお下さっております。近所の子供たちも気軽に立ち寄り挨拶を交して下さっている。	
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。	町内のゴミ拾い等、町内会や老人クラブの行事に参加させて頂いている。	
6	○事業者の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。	運営推進会議の際、認知症や介護認定、インフルエンザ等の情報提供をさせて頂いております。また、意見交換を行い参考にさせて頂いている。	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7 ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。	職員全員で自己評価を行っております。外部評価の結果を活かしより良いサービスが提供出来るように質の向上に努めている。		
8 ○運営推進介護を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月に一度の運営推進会議でほむむの取り組みや行事、日常の様子等の報告を行いほむむに対する質問や意見を聴き、今後のサービス向上の参考にさせていただいている。		
9 ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。	地域の消防の方に来ていただき一緒に非難訓練を行ったり、地域の行事に参加し交流できる機会を作りサービスに質の向上に努めている。		
10 ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。	市町村で開かれる高齢者に関わる講習会や研修に参加し、学んだ事を学習会で報告しております。また、運営推進会議の中で情報提供させて頂いている。		
11 ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがない要注意を払い、防止に努めている。	市町村で開かれた高齢者虐待防止関連の研修を受けたり、地域の方々や御家族の方が来訪しやすい雰囲気をつくり開かれた場であるよう努めている。		
4. 理念を実践するための体制			
12 ○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	文書や口頭で十分に説明させて頂いております。不安や疑問点なども良く聞き理解して納得いただけるよう努めている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
13 ○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	行事に参加した時や日常の会話の中で意見、不満、苦情が出た時は傾聴し速やかに対応し運営に反映させている。		
14 ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。	毎月月末にほむの出来事や行事等の報告をさせて頂いている。ほむ便りを作成し郵送にて目を通して頂いている。面会の際に日常の様子を報告させて頂いている。預かり金の内訳に関して月末毎に報告し御希望の有る御家族には郵送させて頂いている。		
15 ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	玄関に意見箱を設置している。意見、不満、苦情に対して速やかに対策を検討し回答している。検討した内容は全職員が周知統一した対応をしている。		
16 ○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月に1度ミーティングを行い出された意見や提案を反映出来るよう全職員で話し合い取り組んでいる。		
17 ○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。	状況の変化や要望に応じて対応出来るようなシフトを組み必要な時間帯に職員を適切に配置するよう勤務の調整を行っている。		
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	利用者が安心して支援が受けられるように職員に移動は最小限に抑えています。離職の際には利用者の心のケアを行っている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	定期的に各種研修会へ参加しミーティング後に勉強会をし意見交換を行っている。	
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。	地域の勉強会や管理者会議への参加行事等を通じて意見交換しサービスの向上に取り組んでいる。	
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。	ミーティング時や休憩時間等に悩みや問題点を話し合い解決できるようにしている。	
22	○向上心をもって働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。	把握するよう努めている。各種研修会や交流会への参加をミーティング後に行っている勉強会を職員主催で実施するなど各自が向上心を持ち業務にあたっている。	
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	面談時や日々の関わりの中で会話の機会を増やし、利用者の困っていることや不安等を受け止め対応出来るよう努めている。	
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	面談時や来訪された際や電話などで、その都度安心して頂けるよう傾聴しお話をさせて頂いている。	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	面談時や会話の中から必要としている支援を見極め実現に向けた支援を提供出来るよう努めている。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	不安が無く安心して頂けるよう他の利用者と馴染めるように職員が仲介役となり支援させて頂いている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	得意な事や出来ることをお手伝いして頂き楽しみながら生活を共にしている。料理や裁縫等はアドバイスしてくださっている。		
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	ほ～む便りで活動の様子を報告すると共に運営推進会議や誕生会などの行事への参加を呼びかけ、ほ～むの運営に参加して頂いており利用者を共に支えあう関係を築いている。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	面会時に近況や状態を報告させて頂いている。電話での報告も都度行っており、ほ～む便りを発行し行事の呼びかけを行い、利用者のご家族の関係が築きやすいように支援させて頂いている。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	電話や手紙を出す等の支援をさせて頂いている。行事や誕生会の際にはご案内させて頂き気軽に参加、交流が出来るよう支援に努めている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	利用者同士の日々の関わりの様子から関係性を把握し、互いを認め支え合えるように支援している。		
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	利用者や御家族に説明し情報交換を行う事で退去後も安心して頂けるよう支援させて頂いている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の生活の中で一人ひとりの思いを大切にし、その人らしい生活が出来るようご本人の様子や言葉から希望や意向に添えるように努めている。		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	アセスメントシートから生活歴、好みなどの情報を把握、共有しています。半年ごとにアセスメントを取り変化をの見落としがないように努めております。月に一度のカンファレンスにて情報交換を行い全職員が現状を把握している。		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	会話や関わり、その日の動作や表情等から把握するように努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している。	介護支援専門員の指導のもと、全職員参加のカンファレンスを行い、現状を把握し意見交換行い全職員周知の上介護計画を作成している。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
37	○現状に即した介護計画の見直し  介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	実施期間を明示しカンファレンスで介護計画の評価、見直しを行っております。また、新たな変化が生じた場合は介護支援専門員、ご本人、御家族、関係者とともに話し合い対応している。		
38	○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	個別の行動表を記録、作成し状態の報告、確認を行い介護計画の見直しに活用している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援  本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	希望、要望を尊重し可能な限り買い物などへの対応を行っております。ほ～むで行う行事の際、意見を聞きながら計画、実施している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働  本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	GH交流会、文化際への参加や地域の子供達との交流、地域の消防による避難訓練を定期的に行い社会との関わりがもてるよう支援させて頂いている。		
41	○他のサービスの活用支援  本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	他の事業所と連携をとり支援させて頂いている。		
42	○地域包括支援センターとの協働  本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	2ヶ月に一度の運営推進会議において包括支援センターとの協働を計っている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>43</p> <p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>個々の状態にあった協力病院の担当の医師に相談させていただいている。2週間に一度の訪問診療にて定期的な体調管理を行い24時間の適切な対応が出来る。</p>		
<p>44</p> <p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。</p>	<p>日頃より主治医に相談、助言を頂き対応している。</p>		
<p>45</p> <p>○看護職との協働</p> <p>事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。</p>	<p>看護師が定期的に巡回し利用者の様子を観察、体調管理している。親しみやすい雰囲気です利用者へ接しているため利用者も安心して看護師に相談されている。</p>		
<p>46</p> <p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。</p>	<p>日頃より主治医に相談、情報交換を密接に行い協力体制が取れるように努めている。</p>		
<p>47</p> <p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。</p>	<p>協力機関、かかりつけ医、ご家族等に日々の様子を都度報告し必要に応じて連絡を取り話し合い体勢を整えている。</p>		
<p>48</p> <p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。</p>	<p>かかりつけ医に相談、助言いただき今後の変化に備えた対応を行っている。</p>		



項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
49	<p>○住替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。</p>	<p>ご本人の気持ちに寄り添い傾聴し、アセスメントを用い生活歴、大切な経験、出来事を知り、ケア関係者間で十分に話し合い情報を共有しご本人が落ち着いて生活できるように配慮に努めている。</p>		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1)一人ひとりの尊重				
50	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。</p>	<p>個人を尊重し一人一人にあった声がけをさせて頂いている。記録は個人の誇りやプライバシーに配慮している。</p>		
51	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや記号を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。</p>	<p>利用者と職員がゆっくり話せる機会を作り、希望や自己決定が自然に出来るよう個々にあった環境作りに努めている。</p>		
52	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p>	<p>現在までの生活歴を理解しその日の会話や表情からご本人のペースを守り希望に添って過ごして頂けるよう支援させて頂いている。</p>		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。</p>	<p>衣類にも配慮したりご希望によりマニキュアを塗ったり髪形を変える等の支援をさせて頂いている。化粧品もご自分で選ばれて購入されている。</p>		
54	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。</p>	<p>塩分制限あるが毎日一緒に食事を行い、それぞれの力に合わせて調理や片付けをされている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
55 ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	飲食については体調管理に基づき対応を行っている。お酒の希望はないがタバコは希望や体調に応じて職員付き添い安全に喫煙して頂いている。出来る限り希望に添えるように対応させて頂いている。		
56 ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	一人ひとりに合った排泄が出来るように支援させて頂いている。失敗があった場合には不安を与えないよう、また自尊心を傷つけないよう声がけしプライバシーに配慮した対応をさせて頂いている。		
57 ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	一人ひとりに合った温度調節や力に合った介助を行い要望に添えるよう入浴して頂いている。		
58 ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	個々の睡眠パターン、排泄状況、その日の行動状況を把握し対応させて頂いている。日中に睡眠が必要な方にはその都度状況に応じて対応させて頂いている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	体操や歌、レクを取り入れ天気の良い日には散歩を楽しんで頂いている。それぞれの力に応じて毎日の家事や炊事などの支援をさせて頂いている。		
60 ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	金銭管理はほ～むで行い利用者の希望の買い物等は職員が付き添い使用して頂いている。		
61 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	体調や天気を考慮し、天気の良い日にはご希望により散歩されたり、職員付き添い一緒に買い物に出掛けられるよう支援させて頂いている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	利用者のご家族が馴染みの場所に出掛けたり、ほ～むでは年に何度かの温泉、季節毎のイベントに参加したり出来る限り外出の支援をさせて頂いている。		
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	大切な方に電話をかけたり手紙を送る等ご希望に応じて対応させて頂いている。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	いつ訪問して頂いても居心地よく過ごして頂けるように常に良い雰囲気作りを心掛け支援させて頂いている。		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束について全職員が周知、理解している。定期的に勉強会を行い確認し合い身体拘束ゼロのケアに取り組んでいる。		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	日中は鍵を掛けずにご家族や近所の方にも気軽に来いただけるようにしている。		
67	○利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	共有スペースにおられるときは見守り対応できる位置にいて所在も常に把握している。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	内服薬、消毒薬等は安全に保管管理している。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	年に2回防災訓練を行っている。2週間おきの訪問診療にて定期的な体調管理と24時間対応させて頂いている。病歴も把握し対応できるようにしている。		
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	緊急時のマニュアルに応じて対応させて頂いている。定期的な勉強会を行っている。		
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	年2回防災訓練を行い運営推進会議の時に地域や町内の方にもほ～むの事を知って頂き協力を頂いている。		
72 ○リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている。	利用者の日頃の状態をご家族に連絡し健康状態、日常の様子等の情報を共有している。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	毎朝のバイタルチェックと必要時に応じたバイタルチェックを行変化が見られるときには医師、看護師に連絡し指示を仰いでいる。毎日の申し送りと行動表への記録を行い情報の共有をしている。		
74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	服薬量を守り誤薬が無いように手渡しで内服確認している。体調の変化に注意し、医師看護師と連絡を取りながら対応させて頂いている。		
75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	野菜は加熱して食べやすい状態で食物繊維を取って頂いている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	毎食後、自発的に行える方にはご自分で行って頂いている。声掛けや介助、口腔内の確認等の支援をさせて頂き全員の清潔保持に努めている。		
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	栄養士によりカロリー計算された食事を取って頂き状態により、お粥や栄養補助食品(エンシュアリキット)にて対応させて頂いている。食事摂取量や水分量もチェックし、個別の支援をさせて頂いている。		
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	うがい、手洗いを徹底し、手すり等の共有部分の消毒し感染症の予防や対応を実施させて頂いている。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	毎食後、台所、調理用具、食器等消毒を行い、新鮮な食材を使用し安全にも配慮させて頂いている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。	夏には花を飾るなど明るいく親しみやすい玄関まわりを作り、冬には見通し良く安全に歩けるように除雪を行っている。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	季節に合わせリビングの飾りを利用者と一緒で作成している。写真を見て想いで話が出来空間がある。トイレ、水まわりを清潔に保っている。洗剤はカーテンをして利用者様の目に触れないように配慮しています。居間兼事務所となっている為、机上と机周りは煩雑にならないように整理整頓しレースのカーテンや書類等が見えないように書棚にカーテンをつけ気持ちよく生活出来るようにしている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	一緒にテレビやレクを楽しめる場所があり、食堂、リビングを自由に利用出来るようにしている。一人で気楽に座ってくつろげる居場所の工夫をしている。		
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	居室にはなじみの物を置き、落ち着け、生活感のある場になるように配慮している。ご家族と相談し置物、絵や書の額を飾り、居心地良く生活できるように工夫している。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。	空気清浄機を使用している。掃除前や午前、午後、換気を行っている。温度計、湿度計を使用し冬には乾燥しないよう加湿を強化するなど調整している。。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	手すり、滑り止めを使用している。リビングには安全に歩行出来るようにソファを設置している。浴槽にもゴムマット、手すりを設置している。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。	声掛け、見守りにて掃除・食事の用意に参加して頂いている。持ち物に名前を記入し混乱をしないようにしている。また、混乱の原因になりそうな物は置かないようにしている。		
87	○建物の外回りや空間の活用 建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。	晴れた日にはテラスでティータイムをとり、畑には野菜やお花を植え夕方には職員付き添いで水まき等も行っている。		

V. サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果
88 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>●①ほぼ全ての利用者から</li> <li>②利用者の2/3くらい</li> <li>③利用者の1/3くらい</li> <li>④ほとんど掴んでいない</li> </ul> <p>・日常生活の中での散歩時や食事等の会話、表情 くみ取っている。(行きたい所など。)</p>
89 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<ul style="list-style-type: none"> <li>●①毎日ある</li> <li>②数日に1回程度ある</li> <li>③たまにある</li> <li>④ほとんどない</li> </ul> <p>・テラスで一緒にコーヒーを飲みながら会話したり、テレビ を見たり出来ている。</p>
90 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>●①ほぼ全ての利用者</li> <li>②利用者の2/3くらい</li> <li>③利用者の1/3くらい</li> <li>④ほとんどいない</li> </ul> <p>・その日の気分や体調に合わせて行動して頂いている。 プライバシーも確保できている。</p>
91 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている	<ul style="list-style-type: none"> <li>●①ほぼ全ての利用者</li> <li>②利用者の2/3くらい</li> <li>③利用者の1/3くらい</li> <li>④ほとんどいない</li> </ul> <p>・個人の趣味や希望、季節の行事や内外のレクの支援 で笑顔の絶えない、いきいきとした姿が見られている。</p>
92 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<ul style="list-style-type: none"> <li>●①ほぼ全ての利用者</li> <li>②利用者の2/3くらい</li> <li>③利用者の1/3くらい</li> <li>④ほとんどいない</li> </ul> <p>・行きたい場所を伺い温泉や買い物等の外出を楽し まれている。</p>
93 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<ul style="list-style-type: none"> <li>●①ほぼ全ての利用者</li> <li>②利用者の2/3くらい</li> <li>③利用者の1/3くらい</li> <li>④ほとんどいない</li> </ul> <p>・2週間に一度の訪問診療や定期的な病院受診、状態 の変化に合わせた受診にて安心して生活して頂いて いる。</p>
94 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>●①ほぼ全ての利用者</li> <li>②利用者の2/3くらい</li> <li>③利用者の1/3くらい</li> <li>④ほとんどいない</li> </ul> <p>・日々の暮らしの中で交わされる会話や様子から要望 に 応えられるように努めている。</p>
95 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<ul style="list-style-type: none"> <li>●①ほぼ全ての家族</li> <li>②家族の2/3くらい</li> <li>③家族の1/3くらい</li> <li>④ほとんどできていない</li> </ul> <p>・ほ～むに来訪された折や電話にてお話を伺い不安等が 早 急に改善するようにしている。</p>
96 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<ul style="list-style-type: none"> <li>①ほぼ毎日のように</li> <li>●②数日に1回程度</li> <li>③たまに</li> <li>④ほとんどない</li> </ul> <p>・犬の散歩の途中に立ち寄ってくださったり、学校帰りの 子供 達が立ち寄ってくれている。</p>

V. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果	
97	<p>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。</p>	<p>①大いに増えている ●②少しずつ増えている ・運営推進会議の案内を持参し直接お会いして話す機会 も増え、地域の会合や行事に参加する事で理解頂いている。 ③あまり増えていない</p>
98	<p>職員は、生き生きと働けている</p>	<p>●①ほぼ全ての職員が ・利用者と共に生活する中で信頼関係が出来、家族同様の思いで支援し、良い緊張感を持って業務に当たっている。 ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが</p>
99	<p>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う</p>	<p>●①ほぼ全ての利用者が ・時々希望や訴えを真摯に聴き支援させて頂いている。皆さんと仲良く生活でき楽しいとお話されている。 ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない</p>
100	<p>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う</p>	<p>●①ほぼ全ての家族等が ・利用者の表情やお話からご家族も安心して下さり 家庭的なサービスに満足して頂いている。 ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどいない</p>

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

- (日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)
- ・利用者が生きがいを持ち活気ある生活が出来るような環境作りをしている。
  - ・家庭的な雰囲気の中で、くつろぎ安心感のある日常生活をサポートしている。
  - ・季節の行事、地域との交流やイベントへの参加などで生活に楽しみを持ち気分転換を図っていただいている。